学年:	2年生	Stage:	StageⅡ	コード:	L2403	単位:	0.9
モジュール名	全身解剖学			科目担当責任者	天野 カオリ		
モジュール名（英字）	Human Anatomy			コース名	LOM 生命科学口腔病態系		
一般目標（GIO）	StageⅠ・Ⅱ全身解剖学講義はStageⅢの全身解剖実習に先がけて、解剖学全般の知識をひととおり習得する事が最大の目標です。全身の骨格系(骨・軟骨・筋肉・靭帯）について学ぶ運動器系、心臓と全身の脈管系・リンパ管について学ぶ循環器系、中枢神経と末梢神経（自律神経系を含む）、運動と感覚に関わる伝導路、視覚・聴覚を含む特殊感覚器系について学ぶ神経系、口腔（咽頭・食道・胃・十二指腸・空腸・回腸・結腸・直腸）から肛門までの中空性器官と肝臓・胆嚢・膵臓の構造について学ぶ消化器系、鼻腔から喉頭・気管・主気管支・細気管支、肺の構造/区域と機能について学ぶ呼吸器系、内分泌器官と外分泌器官の構造、腎臓・膀胱・子宮・卵巣・精巣構造を含む泌尿生殖器に区分し人体の構造と機能について習得していきます。最終講義日は全身骨学実習日となります。ボリュームはありますが、各講義後に自主的にノートを作成し(タブレット使用可)、各講義後は速やかに復習することを心掛けて下さい。また、人体解剖実習は法的に医学生と歯学生のみ参加が許される必修実習科目であり、本講義中に遺体解剖に関する倫理事項（死体解剖保存法に基づく）と日本における献体機構の役割と社会的意義について学びます。ご献体者様とご遺族様への敬意と感謝の気持ちを忘れず講義に臨んで下さい。講義の流れによってはシラバスに掲載されている内容とは異なる場合もあることを念頭に置いて受講して下さい。なお講義時使用するパワーポイント資料には解剖写真が多く含まれますので、本講義時内容に関する写真撮影ならびに動画の撮影は一切禁止とします。講義中に撮影したり、SNS上に投稿した等を確認した場合は処分の対象となります。						
ユニット：一般目標	1．運動器（全身の骨格系と骨の連結・関節構造） ヒト骨の発生様式と連結様式、全身の骨格系について学び骨学実習で座学で習得した知識とリンクさせて習得する。 2．運動器（全身の骨格筋と付属装置・神経支配） 全身の骨格筋について構造/位置関係と神経支配、起始/停止、筋肉の付属装置(筋膜/腱膜構造・腱滑車・中間腱等)について学ぶ。 3．循環器（心臓と全身の血管系・リンパ管） 心膜/心臓内部構造と栄養血管・大循環・肺循環・動脈・静脈・毛細血管/リンパ管の構造と走行/分布領域について学ぶ。 4．神経系（中枢神経と末梢神経・脳機能区分・脳栄養血管） 中枢神経（脳・脊髄）と末梢神経（脳神経・脊髄神経・自律神経）の構造と機能について学ぶ。また脳の機能区分と栄養血管の走行/分布領域について学ぶ。 5．神経系（脳の機能：伝導路） 錐体路や錐体外路系運動機能の伝導路に関わる中枢領域について、また温痛覚や深部感覚などの一般感覚、聴覚や視覚など特殊感覚に関わる伝導路と中枢領域について学ぶ。 6．特殊感覚器系（視覚器・聴覚 / 平衡感覚器と付属器官） 視覚器（眼窩内構造：眼球と付属器官・眼球を動かす筋群）の構造と支配神経・視覚伝導路について学ぶ。聴覚と平衡感覚器（外耳・中耳・内耳）の構造と聴覚伝導路について学ぶ。 7．消化器系（口腔/咽頭～肛門 / 肝臓・胆嚢・膵臓） 消化器系を口腔/咽頭から肛門までの中空性器官と肝臓・胆嚢・膵臓など実質臓器に分けて位置・構造・機能について学ぶ。 8．呼吸器系（鼻腔/喉頭～気管・主気管支・細気管支・肺） 呼吸器系を鼻腔・喉頭から主気管支/細気管支・肺の構造と区分や区域、喉頭軟骨や喉頭筋群の構造や機能ならびに神経支配について学ぶ。 9．内分泌器官・外分泌器官 内分泌器官/内分泌物質と外分泌器官/外分泌物質について学ぶ。 10. リンパ性器官 胸腺・脾臓・扁桃の構造と機能について学ぶ。 11．泌尿器・生殖器 男女の泌尿器/生殖器官の構造や位置関係ならびに機能について学ぶ。						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシーCP	CP2,CP3
	a / − / b	− / b / −	a / − / a		

a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目　b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目
c:学習成果を上げるために履修する科目

教科書等　　記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど
講義時に参考図書についての説明をします。 教 1/ 解剖学カラーアトラス/ Roben 横地/ 医学書院 参 1/ Qシリーズ解剖学/ 加藤 征/ 日本医事新報社 参 10/ 口腔の機能と解剖/ 田畑 純，角田佳折/ 南山堂 参 2/ あたらしい人体解剖学アトラス/ 佐藤達夫/ メディカルサイエンス・インターナショナル 参 3/ プロメテウス解剖学コアアトラス第四版/ 坂井建雄他/ 医学書院 参 4/ グレイ解剖学第三版/ 秋田恵一訳/ エルゼビアジャパン・インターナショナル 参 5/ イラスト解剖学第10版/ 松村讓兒/ 中外医学社 参 6/ 分担解剖学1（総説・骨・靭帯・筋），2（脈管・神経），3（感覚器・内臓）/ 養老孟司他/ 金原出版株式会社 参 7/ プロメテウスアトラスコンパクト版　第2版/ 坂井建雄訳/ 医学書院 参 8/ 入門人体解剖学/ 藤田恒夫,藤田信也/ 南江堂 参 9/ イラスト口腔顔面解剖学/ 松村讓兒,島田和幸/ 中外医学社

評価方法

出　欠　席	全身解剖学講義（StageⅠ・Ⅱ）は原則全出席してください、やむを得ず欠席した場合は必ずオンデマンド講義を利用して履修してください。					
モジュール試験(%)	80	客観式試験で行います。				
アクティビティ(%)	20	骨学課題レポートの提出と骨学実習への参加をアクティビティ評価に含めます。				
	アクティビティ詳細(%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
				10		10	
再試験の評価方法	客観式試験で行います。					
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。					
アクティブラーニング	非該当					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_025_6/3_1限	2026/06/03	1		講義	31番教室	60
ユ ニ ッ ト	感覚器の構造と機能					
サブユニット	側頭骨内部・聴覚器の構造と機能/付属装置					
授 業 目 標	1)側頭骨の構造と付属器官について 2)外耳について 3)中耳と中耳に位置する構造と神経支配について 4)内耳と内耳に位置する構造と神経支配について 5)聴覚伝導路について 1)-5)を説明できる。					
キーワード	側頭骨内部構造、側頭骨錐体部・鼓室部・麟部、外耳・中耳・内耳構造、耳小骨(ツチ・キヌタ・アブミ骨)、鼓膜、耳管、三半規管、蝸牛、内耳孔、内耳道/内耳神経・顔面神経管/顔面神経					
担　　当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-6-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_026_6/3_2限	2026/06/03	2		講義	31番教室	60
ユ ニ ッ ト	消化器の構造と機能					
サブユニット	胃・小腸の構造と機能					
授 業 目 標	1)胃の形態構造について 2)十二指腸の内部構造について 3)空腸・回腸の内部構造について 1)-3)を説明できる。					
キーワード	胃壁構造、胃体・底部、大弯/小弯、噴門部・幽門部(幽門括約筋)、大・小十二指腸乳と開口する管・大十二指腸乳頭(オッディ括約筋、主膵管、総胆管)、輪状ヒダ、腸絨毛、パイエル版、回盲弁、孤立リンパ小節					
担　　当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-7-1,A-3-2-12					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-オ-a,総論Ⅱ-1-オ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_027_6/3_3限	2026/06/03	3		講義	31番教室	60
ユ ニ ッ ト	消化器の構造と機能					
サブユニット	大腸の構造と機能、肝臓・胆嚢・膵臓の構造と機能					
授 業 目 標	1)大腸区分(結腸・直腸)の構造について 2)肛門の構造(内・外肛門括約筋と支配神経)について 3)肝臓の構造(解剖学的・機能的右葉と左葉)について 4)肝臓の栄養血管と機能血管系について 5)胆嚢の位置と構造について 6)膵臓の位置と構造について 7)膵臓の内分泌構造と外分泌構造について 8)膵頭部と膵尾に接する臓器と大十二指腸乳頭との関係について 1)-8)を説明できる。					
キーワード	半月ヒダ、結腸ヒモ、腹膜垂、結腸膨起、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸、肛門(内肛門括約筋と外肛門括約筋)、肝臓の解剖学的・機能的右葉と左葉、カントリー線、クイノーの肝区域、固有肝動脈、門脈、肝臓の血管系(機能血管と栄養血管)、胆嚢、ボイデン括約筋、カロー三角、膵臓膵頭/膵尾側に位置する臓器(十二指腸・脾臓)、主膵管と開口部、ランゲルハンス島、胆嚢と総胆管					
担　　当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-7-2					

国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-オ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_028_6/3_4限	2026/06/03	4		講義	31番教室	60

ユニット	消化器の構造と機能
サブユニット	口腔・咽頭の構造/歯肉・口蓋・舌の構造
授業目標	1)口腔前庭と固有口腔について 2)口唇と頬粘膜について 3)口蓋舌弓と口蓋咽頭弓、口峡の構造について 4)歯肉の構造について 5)口蓋(軟口蓋・硬口蓋)の構造と支配神経について 6)咽頭の構造と支配神経について 7)舌と味蕾の構造と支配神経について 8)唾液腺と大唾液腺管の構造と開口部位、支配神経について 1)-8)を説明できる。
キーワード	口腔前庭、固有口腔、歯後隙、口唇、口蓋、頬粘膜、舌筋(内舌筋/外舌筋・舌下神経)、味蕾(味覚に関わる味蕾)、舌前2/3の味覚(鼓索神経)、舌後1/3の味覚(舌咽神経)、口蓋舌弓、口蓋咽頭弓、口峡、口蓋垂、口蓋帆挙筋(咽頭神経叢)、口蓋帆張筋(下顎神経)、耳下腺(耳下腺管・耳下腺乳頭・舌咽神経)、顎下腺(顎下腺管・舌下小丘・顔面神経)/舌下腺(舌下腺管・舌下小丘・顔面神経)、咽頭鼻部、咽頭口部、咽頭喉頭部、咽頭(上・中・下咽頭収縮筋/咽頭神経叢、茎突咽頭筋/舌咽神経、咽頭縫線・咽頭結節)、ワルダイエル咽頭輪(口蓋扁桃/耳管扁桃/咽頭扁桃/舌扁桃)、梨状陥凹、食道
担当	天野 カオリ
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)
コアカリ(令和4年)	A-3-1-7-1
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-オ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_029_6/10_1限	2026/06/10	1		講義	31番教室	60

ユニット	消化器の構造と機能
サブユニット	口腔・咽頭の構造/歯肉・口蓋・舌の構造
授業目標	1)口腔前庭と固有口腔について 2)口唇と頬粘膜について 3)口蓋舌弓と口蓋咽頭弓、口峡の構造について 4)歯肉の構造について 5)口蓋(軟口蓋・硬口蓋)の構造と支配神経について 6)咽頭の構造と支配神経について 7)舌と味蕾の構造と支配神経について 8)唾液腺と大唾液腺管の構造と開口部位、支配神経について 1)-8)を説明できる。
キーワード	口腔前庭、固有口腔、歯後隙、口唇、口蓋、頬粘膜、舌筋(内舌筋/外舌筋・舌下神経)、味蕾(味覚に関わる味蕾)、舌前2/3の味覚(鼓索神経)、舌後1/3の味覚(舌咽神経)、口蓋舌弓、口蓋咽頭弓、口峡、口蓋垂、口蓋帆挙筋(咽頭神経叢)、口蓋帆張筋(下顎神経)、耳下腺(耳下腺管・耳下腺乳頭・舌咽神経)、顎下腺(顎下腺管・舌下小丘・顔面神経)/舌下腺(舌下腺管・舌下小丘・顔面神経)、咽頭鼻部、咽頭口部、咽頭喉頭部、咽頭(上・中・下咽頭収縮筋/咽頭神経叢、茎突咽頭筋/舌咽神経、咽頭縫線・咽頭結節)、ワルダイエル咽頭輪(口蓋扁桃/耳管扁桃/咽頭扁桃/舌扁桃)、梨状陥凹、食道
担当	天野 カオリ
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)
コアカリ(令和4年)	A-3-1-7-1,A-3-2-12,A-3-2-13,A-3-2-14,A-3-2-15,A-3-2-16,A-3-3-1,A-3-3-2,A-3-3-3,A-3-3-4,A-3-3-6,A-3-3-7,A-3-3-9
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-オ-a,総論Ⅱ-4-オ-b,総論Ⅱ-4-オ-c,総論Ⅱ-4-オ-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_030_6/10_2限	2026/06/10	2		講義	31番教室	60

ユニット	呼吸器の構造と機能
サブユニット	鼻腔・喉頭・肺・気管支の構造

授 業 目 標	1）鼻腔・副鼻腔の構造と開口部について 2）副鼻腔と開口部と副鼻腔炎について 3）喉頭の位置と喉頭筋群の構造と支配神経について 4）肺の構造について 5）肺門（肺動脈・気管支・肺静脈）の構造について 6）肺小葉と肺胞の構造について 7）気管の構造について 8）解剖学的縦隔区分について 1)−8)を説明できる。
キーワード	上・中・下鼻道、上・中・下鼻甲介、キーゼルバッハ部位、副鼻腔（上顎洞・半月裂孔、篩骨洞、前頭洞、蝶形骨洞）蝶篩陥凹、、喉頭蓋、声帯ヒダ、室ヒダ、甲状軟骨、輪状軟骨、気管切開位置、披裂軟骨、輪状甲状筋、後輪状披裂筋、甲状披裂筋、横・斜披裂筋、迷走神経(上喉頭神経)・反回神経(下喉頭神経)、多列腺毛上皮、気管支区分、気管軟骨、壁側胸膜、臓側胸膜、胸膜腔、解剖学的縦隔区分、右肺（上葉・中葉・下葉）、左肺（上葉・下葉）、水平裂、斜裂、肺動脈、気管支、肺静脈、右気管支、左気管支、肺小葉、肺胞、気管支平滑筋、気管軟骨、拘束性肺疾患、閉塞性肺疾患、喘息、咳反射
担　　当	天野 カオリ
学修範囲（事前事後学修）	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)
コアカリ(令和4年)	A-3-1-8-1,A-3-1-8-2,A-3-2-2,A-3-2-14,A-3-3-8
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-4-オ-d,総論Ⅱ-6-オ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_031_6/10_3限	2026/06/10	3		講義	31番教室	60
ユ ニ ッ ト	呼吸器系の構造と機能					
サブユニット	鼻腔・喉頭・肺・気管支の構造					
授 業 目 標	1）鼻腔・副鼻腔の構造と開口部について 2）副鼻腔と開口部と副鼻腔炎について 3）喉頭の位置と喉頭筋群の構造と支配神経について 4）肺の構造について 5）肺門（肺動脈・気管支・肺静脈）の構造について 6）肺小葉と肺胞の構造について 7）気管の構造について 8）解剖学的縦隔区分について 1)−8)を説明できる。					
キーワード	上・中・下鼻道、上/中鼻甲介・下鼻甲介、キーゼルバッハ部位、副鼻腔（上顎洞・半月裂孔、篩骨洞、前頭洞、蝶形骨洞）蝶篩陥凹、、喉頭蓋、声帯ヒダ、室ヒダ、甲状軟骨、輪状軟骨、気管切開位置、披裂軟骨、輪状甲状筋、後輪状披裂筋、甲状披裂筋、横・斜披裂筋、迷走神経(上喉頭神経)・反回神経(下喉頭神経)、多列腺毛上皮、気管支区分、気管軟骨、壁側胸膜、臓側胸膜、胸膜腔、解剖学的縦隔区分、右肺（上葉・中葉・下葉）、左肺（上葉・下葉）、水平裂、斜裂、肺動脈、気管支、肺静脈、右気管支、左気管支、肺小葉、肺胞、気管支平滑筋、気管軟骨、拘束性肺疾患、閉塞性肺疾患、喘息、咳反射					
担　　当	天野 カオリ					
学修範囲（事前事後学修）	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-8-1,A-3-1-8-2,A-3-2-13,A-3-2-15,A-3-3-8,A-3-3-9					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-エ-a,総論Ⅱ-1-エ-b,総論Ⅱ-1-エ-c,総論Ⅱ-4-オ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_032_6/10_4限	2026/06/10	4		講義	31番教室	60
ユ ニ ッ ト	内分泌器官と外分泌器官					
サブユニット	内分泌機構と外分泌機構					
授 業 目 標	1）内分泌器官 2）内分泌物質について 3）内分泌機構とは 4）外分泌器官 5）外分泌物質について 6）外分泌機構とは 1)−6) を説明できる。					
キーワード	視床下部、下垂体、甲状腺・副甲状腺、膵臓ランゲルハンス島（A細胞・B細胞・D細胞）、副腎皮質・副腎髄質、卵巣、精巣					
担　　当	天野 カオリ					
学修範囲（事前事後学修）	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					

コアカリ(令和4年)	A-3-1-5-3,A-3-1-9-1,A-3-1-9-3
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_033_6/17_1限	2026/06/17	1		講義	31番教室	60
ユニット	泌尿器・生殖器					
サブユニット	腎臓・膀胱の構造と機能 女性器と卵巣					
授業目標	1)腎臓の位置関係/左右高さの違いと理由 2)皮質と髄質について 3)小腎杯・大腎杯・腎盂 4)ネフロンとは 5)腎静脈・腎動脈・尿管について 6)尿管の生理的狭窄部について 7)膀胱の構造について 1)-7)を説明できる。					
キーワード	腎臓の位置(後腹膜臓器)、皮質と髄質、小腎杯・大腎杯・腎盂、ネフロン、腎静脈・腎動脈・尿管、尿管の生理的狭窄部(腎盤・尿管移行部・総腸骨動脈交叉部・膀胱壁貫通部)、膀胱					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-10-1,A-3-1-11-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-キ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_034_6/17_2限	2026/06/17	2		講義	31番教室	60
ユニット	泌尿器・生殖器					
サブユニット	生殖器の構造と機能					
授業目標	1)子宮と膀胱と直腸の位置関係とダグラス窩 2)子宮の構造 3)解剖学的子宮口と組織学的子宮口 4)子宮の疾患 5)卵巣・精巣と受精のしくみ 6)男性器(陰茎・陰嚢・前立腺) 1)-6)を説明できる。					
キーワード	子宮体、子宮頚、子宮口、子宮円索、子宮広間膜、卵巣、卵管采、卵管膨大部、子宮外妊娠、解剖学的子宮頚と組織学的子宮頚、子宮頚がん、子宮体がん、子宮筋腫、卵巣嚢腫、ミュラー管、ウォルフ管、陰茎(陰茎海綿体・尿道海綿体)、陰嚢、尿道球腺、前立腺、					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-10-1,A-3-1-11-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-キ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_035_6/24_1限	2026/06/24	1		実習	解剖実習室	60
ユニット	人体の構造と機能/骨学実習					
サブユニット	骨学実習					
授業目標	1)全身骨格の構成について 2)骨名称・数・位置・左右差について 3)各骨の構造と可動域について 1)-3)を実習を通して観察説明ができる。					
キーワード	体幹骨(頸椎7、胸椎12、腰椎5、尾椎)、胸骨、鎖骨、肩甲骨、上肢(上腕骨、橈骨、尺骨、手根骨、手指骨)、寛骨、仙骨、尾骨、下肢(大腿骨、脛骨、腓骨、膝蓋骨、足根骨)、頭蓋骨、頭蓋冠(前頭骨、頭頂骨、側頭骨、後頭骨)、内頭蓋底、外頭蓋底、顔面骨(蝶形骨、篩骨、鼻骨、上/中/下鼻甲介、涙骨、鋤骨、口蓋骨、上顎骨、下顎骨)、舌骨					

担　　当	天野 カオリ,小口 岳史,光家由紀子
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1,A-3-1-3-3
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-イ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_036_6/24_2限	2026/06/24	2		実習	解剖実習室	60
ユ ニ ッ ト	人体の構造と機能/骨学実習					
サブユニット	骨学実習					
授 業 目 標	1)全身骨格の構成について 2)骨名称・数・位置・左右差について 3)各骨の構造と可動域について 1)-3)を実習を通して観察説明ができる。					
キーワード	体幹骨(頸椎7、胸椎12、腰椎5、尾椎)、胸骨、鎖骨、肩甲骨、上肢(上腕骨、橈骨、尺骨、手根骨、指骨)、寛骨、仙骨、下肢(大腿骨、脛骨、腓骨、膝蓋骨、足根骨)、頭蓋骨、頭蓋冠(前頭骨、頭頂骨、側頭骨、後頭骨)、内頭蓋底、外頭蓋底、顔面骨(蝶形骨、篩骨、鼻骨、上/中/下鼻甲介、涙骨、鋤骨、口蓋骨、上顎骨、下顎骨)、舌骨					
担　　当	天野 カオリ,小口 岳史,光家由紀子					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1,A-3-1-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-イ-a					